

Kominkan サミット in Okayama-地域づくりとESD推進

岡山大学大学院環境学研究科・ユネスコチェアプログラム
研究科長 阿部宏史 (チェアホルダー)

日時：平成19年10月27日(土)から11月3日(土)

場所：岡山大学津島キャンパス(大学院自然科学研究科棟会議室)、岡山県生涯学習センター
岡山市立京山公民館、笠岡市立白石公民館など

主催：岡山大学・岡山県国際団体協議会(COINN)

共催：国連教育科学文化機関(UNESCO)ほか

まなびピア岡山2007(第19回全国生涯学習フェスティバル)の参加事業

背景

地球温暖化に代表されるように、環境を守りつつ調和の取れた社会を作り上げることは、「持続可能な開発:sustainable development」として、世界中で取り組むべき課題である。しかしながら、国レベルでは国益が対立するなど容易でない。個人レベルでも、地球環境のために生活様式を改善することはなかなか受け入れられるものでない。

2002年にはヨハネスブルクサミットが行われ、地域で「持続可能な開発」について理解を深める活動が重要であるとして、ESD(Education for Sustainable Development)を進めることが提唱された。岡山は2005年にESDの世界最初のモデル地区(7ヶ所)に選ばれて、ESDについて世界に先駆けて取り組んでいる。

ユネスコはESDを推進するための主導的役割を期待されている。岡山大学ではユネスコチェアプログラム(持続可能な開発のための教育と研究)に本年4月に認証され、大学院環境学研究科では地域と連携してESD(国連持続可能な開発のための教育)を推進するための取り組みを行っている。そこで、これまで過去10年間岡山で行われてきたNGOサミットを発展させる形で、地元のNGOである岡山県国際団体協議会(COINN)と協力して、公民館とESDに関する国際会議「Kominkan サミット in Okayama-地域づくりとESD推進」をユネスコバンコク事務所等と協力して開催することになった。

概要(プログラム)

10月27-31日は専門家(海外の生涯教育・公民館担当者、NGOおよび研究者ら)の間で公民館およびESDに関する意見交換を行う。

初日の27日は、開会式に続いて国立教育政策研究所の笹井宏益氏とユネスコバンコク事務所のDarunee氏による基調講演が行われ、市内の京山公民館や岡山県生涯学習センターを視察する。

28日は公民館に関する政策、地域での連携、大学との協力等の点から各国の報告を行い、意見交換を行う。29-30日は笠岡市白石島の白石公民館を訪問し、離島の公民館の現状視察と同島で岡山大学・矢掛高校が白石公民館と協力して実施している環境教育活動について検討する。

10月31日には、岡山市内に戻り岡山市京山公民館で専門家会議を踏まえて公民館・NGO・教育機関・ユネスコ等諸機関が今後の協力方針について検討を行う。そして、合意事項を「岡山宣言」として起草する。11月1日には岡山国際交流センターでNGOと公民館の連携について意見交換を行い、「岡山宣言」を発表する。午後には、我が国で最初の農民のための教育施設である閑谷学校を視察する。

11月2日には海外からの参加者は「まなびピア2007」を視察し、生涯学習事業について視察す

る。

11月3日には、「まなびピア 2007」の参加事業として公開シンポジウムを開催する。
この、シンポジウムは全国から生涯学習フェスティバルに参加した方を対象に、アジア各国が注目している「公民館」の役割と期待について、ユネスコアジア太平洋事務所の識字専門家による大安喜一氏とタイのプラティープ財団事務局長である（プラティープ氏、マグサイサイ賞受賞者）による基調講演をしてもらい、各国の公民館担当者や全日本公民館連合会の村上事務局長を交えてシンポジウムを行う。10月27-31日の専門家会議の成果をここで紹介する。

参加者

海外からの招待参加者：モンゴル、フィリピン、ベトナム、カンボジア、タイ、インドネシア、ネパール、バングラデシュ、フィジー、エジプト、南アフリカ 17人（複数参加の国あり）

期待される成果

- 1) 我が国の公民館の役割の再評価（国内・海外）
- 2) 岡山で行われている ESD 推進事業が我が国・世界のモデルになる
- 3) 岡山県国際貢献条例における、県民の国際貢献活動の地域の拠点となる
例：姉妹公民館など
- 4) 大学教育（大学院教育）において公民館など社会教育施設を活用して地域での環境・持続可能な開発のための教育のモデル事業になる。
- 5) 今回の、専門家会議を踏まえて10月31日にユネスコと共同で「岡山宣言」が採択され、世界的に今回の国際会議の検討事項がユネスコを通じて世界に広まる可能性がある。

お問い合わせ先

岡山大学大学院環境学研究科 公民館サミット実行委員会事務局
〒700-8530 岡山市津島中3-1-1
TEL/FAX：086-251-8911,8925（担当：山本秀樹）

E-mail: unesco@cc.okayama-u.ac.jp

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/ges/unesco/kominkan/index/html>

Kominkan (公民館) サミット in Okayama



- 地域づくりとESD推進 -

岡山では、持続可能な社会作りに向けて、公民館を中心とした教育・学習活動が盛んに行われていますが、経済と環境、社会、文化の調和が重視される今日の社会のあり方に対応した形で、公民館活動の運営に携わる人材の育成とカリキュラムの開発が必要とされており、社会を持続可能なものとするために、『知』をいかにして伝え、つなぎ、創造していくのか、という視点からの取り組みが岡山でも始まっています。日本全体で、安全、安心な地域づくりが期待される中で、公民館での学習活動を通じた地域づくりを再認識することには価値があります。

アジア各国には非識字者に対して識字教育を提供すると共に、住民を中心とした地域づくりの場となっているコミュニティ学習センターがあり、運営支援を行うUNESCO等の関係者の目が今、日本の公民館に向けられています。日本の経験や教訓をアジア版公民館であるコミュニティ学習センターの運営担当者と共有することは、有意義な国際貢献です。

岡山大学大学院環境学研究科は、ユネスコチェアプログラムの一貫として、Kominkanサミットを位置づけ、公民館やコミュニティ学習センターを中心とした持続可能な社会作りに貢献していきます。

概要

- 日時**：2007年10月27日(土)～11月3日(土) 第19回生涯学習フェスティバル(まなびピア2007)参加事業
- 場所**：岡山大学、公民館(岡山市、笠岡市)他
- 主催**：岡山大学、(特活)岡山県国際団体協議会(COINN)
- 共催**：国連教育科学文化機関(UNESCO)、(財)ユネスコ・アジア文化センター
- (予定)** 岡山ESD推進協議会、(社)大学婦人協会岡山支部、岡山県商工会議所連合会、岡山県農業協同組合中央会
- 後援**：文部科学省、(独)国際協力機構、国連大学高等研究所、岡山県、岡山市、(社)全国公民館連合会、
- (予定)** (特活)「国連持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)、日本ユネスコ協会連盟、岡山ユネスコ協会 他

主な日程

日時	予定	場所
10月27日(土)	開会式・基調講演(一般公開)	岡山大学・岡山市立京山公民館・岡山県生涯学習センター
10月28日(日) ～31日(水)	専門家会議 (要申込み)	岡山大学 笠岡市立白石公民館
11月1日(木)	NGO企画・視察・レセプション (参加要申込み)	岡山国際交流センター 関谷学校訪問
11月2日(金)	第19回生涯学習フェスティバル (まなびピア2007)の視察および開会式への参加	岡山県総合グラウンド 岡山シンフォニーホール
11月3日(土)	シンポジウム(一般公開)	岡山大学

持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development: ESD)：UNESCOや国連大学が地球レベルで推進している取り組み。2005年から「国連・ESDの10年」が始まっています。岡山地域は国連大学よりESDの地域の拠点に認定されています。

岡山大学は、UNESCOから、「持続可能な開発のための研究と教育」の拠点としてユネスコチェア(冠講座)の認証を2007年4月に受けました。地域レベル・国際レベルで、大学間連携や、民間団体や行政、教育機関との連携を通じて、持続可能な社会作りを資する人材を育成することがその目的となっています。

岡山では持続可能な開発のための教育(ESD)を国際・地域の両レベルで推進する取り組みについて2002年から、NGOが中心となって国際会議を毎年開催しております。(特活)岡山県国際団体協議会がNGOの中心となり主催してきました。2006年は岡山大学と協力して「おかやまESD国際会議2006」が開催されました。(報告書・講演概要集あり)

企画全般に関する問い合わせ：

岡山大学 大学院環境学研究科 公民館サミット実行委員会事務局
(担当：山本秀樹 准教授)
TEL/FAX：086-251-8925・8911
E-mail：unesco@cc.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.ac.jp/user/ges/
unesco/kominkan/index/html

NGO企画に関する問い合わせ：

特定非営利活動法人 岡山県国際団体協議会(COINN)
(担当：橋本徹決 専務理事/事務局長)
TEL：086-254-8020 FAX：086-254-8030
E-mail：coinn@ddn.ne.jp